100年のまちづくり
～ 家族や友人とともに暮らすまち～



つなぐ よりそう いどむ 南相馬市

資料５－１

令和８年度

行政経営システム（サマーレビュー）

総括資料

政策の柱１　教育･学び

ＫＧＩ指標	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度		令和８年度	令和７年度達成状況
	現状	実績	実績	実績	目標	目標	
全国学力調査 標準化得点（小６）	99	99	98	98	102	103	● 未達成
全国学力調査 標準化得点（中３）	99	97	97	99	100	101	● 未達成（改善傾向）
学習適応性検査 偏差値（小５）	52.4	53.6	51.7	53.9	54.4	55.0	● 未達成（改善傾向）
学習適応性検査 偏差値（中２）	55.4	56.1	55.4	55.2	57.4	58.0	● 未達成（下降傾向）
生涯学習満足度	38.2%	32.9%	50.0%	55.6%	41.2%	42.2%	● 達成

【KGI の達成状況（資料２　ｐ１・２参照）】

学力向上については、全国学力調査の結果から、中３の標準化得点は令和５年度末 97 から令和７年度末 99 へと改善傾向にはあるものの、目標値を下回っている現状にある。

具体的な取り組みとして、学校訪問を中心とした授業改善の取組の成果が徐々に表れつつあるものの、小学校、中学校ともに令和７年度末目標値に届いておらず、引き続き全国トップレベルの学力を目指すには大きな乖離があり、課題があると捉えている。

また、学習適応性検査の結果から、中２において令和５年度末 56.1 から令和７年度末 55.2 へと下降傾向にあり、中学校段階での学習意欲の維持・向上に向けた取組を強化する必要があると認識している。生涯学習満足度は令和５年度末 32.9%から大幅に改善し令和７年度末 55.6%と目標 41.2%を達成することができた。

【今後へ向けた主な課題と対応（資料２ p3・5・7 参照)】

基本施策１.学校教育

施策①「豊かな心と体の育成」・施策②「教育水準の向上」・施策④「児童・生徒の状況に応じた支援の充実」については、全国学力学習状況調査における標準化得点・標準学力調査の平均正答率ともに前年度比で若干上昇傾向となったものの、目標値を下回っている。今後は、基礎・基本の確実な定着と活用力の向上に向け、「南相馬市の授業スタイル」に基づいた教員の指導力向上と、学校と家庭とのさらなる連携の強化を図る必要がある。また、令和７年度から開始した国際バカロレア研究開発校における双方向・協働型の探究型学習の成果を令和８年度以降に他校へ展開することで、市全体の学習意欲向上と学力の定着を目指す。加えて、南相馬ふるさと至誠（まごころ）学の学習の充実を図るなど、ふるさとへの愛着を育み、自ら学び、未来を切り拓く子どもたちの育成を目指す。

さらに、施策④に掲げる児童・生徒の状況に応じた支援の充実において、不登校児童・生徒の割合が上昇傾向にあり、大きな課題であると捉えている。引き続き、児童生徒の不安や悩みなどへの早期発見ときめ細かな対応を行い、子ども一人ひとりのニーズに応じた支援を強化する。

基本施策２.生涯学習

施策⑤「生涯学習の充実」では、震災等の影響により民俗芸能の実施機会が減少するなど、地域のつながりが希薄化していることが課題である。このため、生涯学習センター等において、市民が集う場づくりと魅力的な事業を推進するとともに、恐竜化石探索調査・教育普及事業等で実施した民間事業者との協働による幅広い普及展開の手法を参考にして事業づくりに取り組み、さらなる生涯学習の充実を図る。